

令和6年度自治会長連絡協議会講演会・意見交換会 要点録

【日時】令和6年6月22日（土） 午前9時30分～午前11時30分

【場所】ふれあいセンター3階 第四学習室

【参加自治会】33自治会

1 講演会

近畿大学総合社会学部の久教授に「継続可能な自治会づくり」をテーマとして、「みんなで楽しくまちづくり」の演題でご講演いただきました。

2 意見交換会

第1地域から第4地域の区分で1班から4班に分かれ、講演会の内容や地域の課題について、意見交換を行った。それぞれの班の意見交換の要点録は、次のとおりです。

1 班要点録

参加自治会：阪急B住宅地、水無瀬門ノ内、三晃住宅（進行役）、五五九の会、共同荘園、へーベルA、広瀬南、阪急C、広瀬

水無瀬門ノ内：講師の話聞いて、自治会を楽しく活動していくことを忘れていた。

三晃住宅：講師の話の中で、若い人がやりたいようにできる活動をとっていたが、最近うちの自治会では若い人が入ってこない。

水無瀬門ノ内：うちの地域では、全体で100世帯ほどあるが、新しい世帯がなかなか入ってくれていない。「自治会は義務じゃなくて、やめてもいいんでしょ」という声があり、やめる人が増えた。一方で、若い層で自治会を必要と考えている人も多いと感じており、比較的若い人が自治会に残っている。子どもの頃に子供会などの活動が楽しかったという思い出を持っている人が残っている。そういう人に楽しみを持ち続けてもらうために楽しい活動をやっていきたい。スポーツ祭も任意参加にしたら誰も行かなくなったが、去年から三晃住宅自治会といっしょに参加させてもらったら、やっぱり楽しかった。

阪急C：楽しいイベントとはどういうことをやっているか。うちの自治会はほぼ活動していない。

三晃住宅：以前はグラウンドゴルフとバーベキューをやっていた。今はバーベキュー

のみとなってしまったが、今年は子どもたちが楽しめるハロウィンを予定している。

阪 急 C：うちは年配が多く、こういったニーズがあるのかわからない。

ヘーベル A：うちは自治会を解散（正確には休止）した。役員のみならず、予算・決算などの会計処理や総会の開催など、運営自体が難しい状況となった。自治会をどうしていくかと協議をして解散（休止）することとした。役員のみならずということはどうにかしないといけない。役場からの仕事などを自分以外の次の人に押し付けられるか迷った。講師の先生の話は理想である。楽しい活動をするためには、まず発起人がいる。先生の話では地域の発起人のアイデアをどうつないでいくかだったが、実際にそういう人が現れるかは難しい。今役場と役員を置かない自治会について協議を進めている。もしそういった身軽な自治会を作ることができれば、若い世代からも楽しいアイデアが出てくるのではないか。自治会内で今後新たに考えている準自治会に入ってもらえないかと聞いて回ったら、7、8割は残ると言ってもらっている。今回全自治会が集まっているが、全員が来る集まりではなく、もっとコアな集まりで議論できればよいのでは。

講演会講師：私が紹介した自治体では、小学校区単位でまちづくり協議をつくっている。元気な人が10%いると仮定した場合、小学校区だと一定の数出てくるものだ。小さな単位自治会ではなく、小学校区単位に切り替えて、月1回程度寄合ができないか。寄合を続けていることでつながりが生まれてくる。根気よくやっていると何か芽が出てくる。

水無瀬門ノ内：この第一地域で月1回集まれば何かできるかもしれない。

講演会講師：自治会員数が減ると隣の自治会と合併したらという声が出てくる。活動だけでも一緒にという声が出てくる。

広 瀬 南：10年ほど前まで自治会活動を休止していたが、東北の震災に寄附したことを契機に改めて自治会が発足した。小さな自治会なので、会員の顔や家庭の事情などもわかる。東北の地震に全額寄附したので自治会の財産としては0からの出発だった。だが、自治会活動はそれ相応のお金がないとできないので、月100円/会員を貯めていった。募金もそこから出している。新しい建売住宅に自治会のチラシを渡しているが、なかなか入ってくれない。若い人は現役で平日の活動は無理。行事も会員数が少ないので何もで

きない。今回の意見交換会のような行政の行事を足掛かりとして活動に参加しようと考えている。なにかいいアドバイスがあれば。

阪急 B 住宅地：うちの自治会では、高齢施設に入っている人も多い。子ども会は阪急 C 自治会と併せて行っており、両自治会で 18 人のみ。いつも役員の選出でもめている。20 年前はそうではなかった。80 歳の方が免除してくださいと言ったら反対の声があった。

阪 急 C：姉が町内に住んでいるが、新しく開発された分譲地で、まるまる自治会に入っていないが困ることはない。役員会でもめるということも聞いているので、ないほうが良いと言っていた。私の自治会は加入率が高い方ではあるが、楽しいことができる自治会、入っているメリットがないとどんどん減っていくと思う。ただでさえ家が大変なのに楽しい自治会でないと入るわけがない。受動的にしかやっていないが、楽しいことがないと、メリットがないと続かないと感じた。

ヘーベル A：こういった議論はもう何年もやっている。ぼちぼち前へ進まない。文句言いの会議では意味がない。こうしたいというのがないと役場も前へ進めない。災害時になにも支援がなくなるかもしれない。自治会はつながりをもってないといけないよと言いつづけなければならない。地域とつながっていたいという人は絶対いる。

阪 急 C：姉も地域とはつながっていたいと言っている。

ヘーベル A：講師の先生の話によると、つながり先が自治会ではないということになってきたのでは。

阪 急 C：手作りコミュニティ市とかでつながっている。

ヘーベル A：いろんな団体が集まれる会議がないといけないというのを役場に言っている。

三 晃 住 宅：自治会の下に子ども会があったが、いま自治会のないところの子ども会はどうしている？

阪 急 C：登校班をつくっている。PTA から直接つくってくれと要請されていると思う。

共同荘園：子ども会のことについては安全ボランティア伝いで聞いていた。以前子ども会を抜けても大丈夫かと聞かれたことがある。子ども会内の役割を決めたりするのが大変だと聞いた。

阪急 C：学校側から直接説明が来たと聞いている。

三晃住宅：町民スポーツ祭では昔自治会参加がいっぱいあったが、今は少ない。サッカーとか野球で参加していることが多い。昔は子ども会対抗がいっぱいあった。以前子ども会をくっつけたいと思ったことがある。公園の掃除が増えたり、独自ルールがあるので難しかった。

阪急 C：もっと大きな単位で役割を考えていかないと。

三晃住宅：広瀬くらい大きかったら。

広瀬：うちの自治会は典型的な階層組織型。理事が9人いて、毎年その中で役を回している。今年は新しいメンバーに変わり、60代くらいの人が入った。私自身はボランティア活動を多くしてきた。会長になってから会合を多くするようになった。ちょっと飲もうかと楽しんで集まっている。

共同荘園：広瀬自治会のように大きいからできる。うちは全体でも25人くらい。活動自体は年2回の掃除や総会くらいだが、比較的みんな仲良いので自治会には入っている。うちの公園はすごくきれいで、溝掃除などを手伝ったりとか協力しながらできていると思う。

五五九の会：うちの自治会は全体で24件のうち、若い方は4件ほど、あとは高齢者。最近年配の世帯と子どものいない世帯の2件が自治会を抜けた。引き留めたがだめだった。

三晃住宅：防災を考えると続けてと言えるが、そのほかのメリットを考えると引き留めるのが難しいのかも。

五五九の会：近所の新たに住宅開発したところは自治会に入っていない。ごみが風の強い日に飛んでくるという近所の苦情があったが、誰に言ってもいいかわからない。そこはごみ当番もないようだ。

三 晃 住 宅：ごみ当番と自治会は別。ごみ置き場のことは役場に言うべき。

2 班要点録

参加自治会：尺代、東大寺、東大寺三丁目、若山台、若山台第2住宅、若山台第三住宅、ユニライフ山崎（進行役）、ユニライフ山崎 C 棟、百山

ユニライフ山崎：「持続可能な自治会づくり」をテーマにした講演を受けて、まずは意見交換をしたいと思う。

東 大 寺：自治会の構成によって考え方も違うが、東大寺は古くからの方と、新しく入ってこられた若い方と半々ぐらいの構成になる。一つのことを決めるにしても、若い人はさっきの講演であったようにデータを使えば良いという考え方をしているが、古くから居る方は高齢の女性が一人で住んでいるような世帯が多いため、ふたつの世代でうまくやっていくためには、会員のみなさんに自発的に活動してもらうことは難しいと感じている。

ユニライフ山崎：現在の世帯数はどのくらいか？

東 大 寺：480 世帯ぐらい。自治会に入っていない世帯も含めると区域内にはおそらく 600 世帯ほど。加入者も毎年確実に減っていて、現在の加入率は 80% ぐらい。一番困っていることは、みなさん共通だと思われるが、新しく空き地になったところが販売されて、分割して売られること。東大寺の場合は大きな開発があった(町営住宅の跡地)が、開発した業者に前の自治会長が自治会に加入するように言ってくれという話をしていたそう。ほとんどは加入しているけれど、小規模で売り出しているときは業者に言ってもなかなかその話(=自治会加入の話)をしてくれない。役場からもそのようなことは言っていないと思う。そういう世帯が入ってくれない。それによって加入者が減っている。あとはお歳を召された方や高齢の一人暮らしの方が亡くなっていったら、その子どもが帰ってくることはまずない。それも加入数が減っていく要因。運営する側としては高齢の方も新しい若い方も同じ会員さんだから、なんとか融合してうまくやっていきたいと考えているが、現実には難しい。考え方が全く違う。そのような状況。

東大寺三丁目：自治会に加入する人が少なくなっている。自治会費の徴収をしても減っていると感じる。今一番悩んでいることが、ごみの問題。ごみ当番をする人とならない人がでてきている。輪番制でやっているが、未加入者はごみは捨てるけれど、当番はとばしてやっている。これに対して何かルールが

作れないかと考えている。良い意見があれば聞かせてほしい。

東 大 寺：ごみの回収場所は自治会で指定しているのか？

東大寺三丁目：自治会での指定や、決まりがあるわけではない。昔から話し合っていて決めている。

東 大 寺：東大寺では、そのような問題が出たら、その地域で解決するように言っている。自治会に入っていない人も捨てているなら、自治会から何か言っても聞かないから、そこに捨てている人同士で話し合ってくれとしている。高齢の方はとぼしてあげるとかも、その人たちで話してみても？とその地域に任せるのはどうか？

東大寺三丁目：問題が生じて、逆に自治会やめる、という人が出てくるかも。未加入者が多いから、自治会で決められない。ルール作って欲しいという声はある。

ユニライフ山崎：戸建てはそれがひとつ大きな問題としてあるようで、担当を決めて掃除したりしているのだろうか。自治会の加入率は8割ぐらいか？

東大寺三丁目：今年から自治会長になったから細かくはわからない。加入率が少なすぎて運営できないから、全体でやめるという地域もでてきた。そういったところで非常に悩んでいるので、よければ他の地域の意見やルールを聞きたい。

ユニライフ山崎：他の自治体では、戸別収集をしているところもあるが、そこは町との話になる。各戸、個人個人で回収される。

東 大 寺：現実的には難しいのでは？

ユニライフ山崎：やっている自治体があるから、できないことはないのでは？

東大寺三丁目：新聞紙などの廃品回収は戸別に出している。町が戸別収集を始めてくれたら、この抱えている問題は解決する。町のほうでも言うておいて欲しい。

事 務 局：担当課と共有します。

ユニライフ山崎 C 棟：ユニライフ山崎 C 棟自治会では、自治会が何かをわからない人が多いと思うことから、自治会の活動とは何かを説明している。災害時に福祉協議

会からボランティアの派遣をしてもらうこともあるから、委員の選出などはお互い手伝わないといけないかなと思っている。ごみの問題は自治会ではなくマンション全体(=管理組合)の問題、なども説明している。自治会の活動は時代とともに変わっているが、具体性をもって説明すると納得してくれる人もでてくる。さっきの先生の講演であったように、やはり3分の1は積極的にきてくれる・3分の1はまあ協力してくれる・残り4割ぐらいは何もしない。けどこの層が文句言ってくるようになってくると大変。できる人からやっていけばいいと思ってやっている。

尺代：尺代の問題としては、高齢化が進んでいること。先生が言っていたやりたいひと・やりたいことを出すが難しい。今住んでいる高齢の方々が子育てしているころは色々楽しいこともしていたようだが、その当時の話をして、今はほとんどが70代以上の方でその人たちの子供が帰ってこない。昔から住んでいたひとが会長していたことが多い。何か楽しいことしませんか？をキーワードに動いている。子ども連れの世帯が入ってきてくれたこともあるので、何をしてほしいか？や楽しいことの案などをアンケートしてみたいと考えている。尺代には外から畑を借りてきている人もいて、その人に話を聞くと、水が美味しいから野菜もおいしいと言っていることを聞く。それを聞くと尺代もすてたもんじゃなと思えた。ただ、高齢化のため、だんだん体が動かなくなっている。その中で何か楽しいことをできれば。尺代の課題としては、消防団に入っている人が少ない・消防団の詰所がない。公会堂を使っている。消防団の車庫があるが黄色ゾーン(土砂災害警戒区域)に立っている。公会堂も。広瀬の機動分団が新しい詰所になって、次に古いのが尺代。防災上課題のある地域を除いて、消防団の車庫と集会場など多目的に使える場所を作って欲しいというのは町に要望している。

ユニライフ山崎：今尺代は何世帯ぐらい？

尺代：51世帯。昔若い人がいた時代は200世帯ぐらいいた。この20年くらいで減った。楽しいことをできるように会員の意見をきくところから始めたい。

百山：百山自治会は関電の寮のあとに開発してできたところで、全体で130世帯。まだ入れ替わりもないので、加入率は100%。何軒か引っ越してきた方もいるが、会則を見せて順次はいつてもらっている。20年たっているが、自治会としての行事をしていない。スポーツ祭は出ていたが、子どもが減ったこともありこの数年参加してない。自治会としての行事が特にない。毎

年更新で10年に1回ぐらい役員が回ってくるが、一斉清掃など義務でやっているようなもののみ。なにか楽しいものを考えたい。

東大寺三丁目：自治会費は？

百 山：自治会費は当初集めていたが、現在繰越金が400万円あるから今はもらっていない。使うことがないから減額を繰り返していて、コロナを機に一旦ストップした。直近で年1200円ぐらいもらっていたが、行事がなくてぜんぜん減らない。

東 大 寺：集会所はあるのか？

百 山：地域内の奥の方にある。

東 大 寺：拠点があるからなにか集まることはできそう。自治会としての当たり前の行事じゃなくても。試しに、極端な例だが、飲み会とかをやってみるとかでもいいかもしれない。

百 山：今までは決められたことだけをしてきたので、そのような発想がなかった。

若山台第三住宅：加入者は250名弱で、約7割の加入率。役員は1年任期で順番に回し、11名の役員でくじびきをして会長をきめている。住民から、夏祭りのようなイベントがあれば参加したいという声は聞くが、自分が役をやってまではしたくないと言う。役の負担を考えると難しい。今は若い人がいないから一緒に盛り上がる人もいないし、思い思いに抜けていく。高齢者は役ができないから抜けていく。1人やめるとハードルが下がり、簡単にやめられてしまう。やめられない工夫や楽しいことを考えると役員の負担として返ってくるから、それがやめる原因にもなるという負の連鎖になっている。今日の講演であったように実行委員会形式でできれば理想だが、それをだれがやるのか、という問題になる。また、どのように継続していくかも課題。役員の負担を減らすために過去の会長を集めた相談役会をつくって、気軽に相談できる仕組みがあれば、と考えている。これを過去5年ぐらいの会長副会長に話に行こうかなと考えているところ。実行部隊をどう作ってどう声をかけていくか。役員の負担にならないほどの小さいものを実行し、掲示板や回覧板で会員の目にとまればいいなと思う。「なんか今年は自治会色々やっているな」と会員のみなさんに思ってもらえたら。会員の目に「自治会」という言葉を目にする機会を増やせたら、こちらに振り向い

てもらえるかなと考えているから、これをどこまで実行できるか。

ユニライフ山崎：会員同士の顔見知りが増えれば声はかけやすくなると思う。

若山台第三住宅：会長になって2か月でかなり顔見知りが増えた。が、全部自分でやってしまっているのが課題と感じている。ほかの役員さんにも頼って分けられたらいいが、どうしても自分でやってしまう。

若山台第二住宅：若山台第三住宅自治会と似たような状況。役員で会議もしているが、耳が少し聞こえにくいから会議に出辛く役員をやるのがしんどいから、もう自治会をやめようかな、と思っている人もいる。何歳になったら役員を免除できる、等は決めているか？

ユニライフ山崎：まずはやりたいひとを募るが人数集まらないから、10軒ずつで班をくんでその班の中で1名ずつとかで出してもらおう。自身でできるという人には任せているが、75歳でパスできることとしている。会長だけでなくほかの役員も。

若山台第二住宅：自治会と別で自主防災会もある。自治会の加入人数は減っているのに、防災は全員を網羅しないといけないというところに齟齬がでてきているが、人命に関わるから仕方ないか…となっている。防災に関する名簿を、管理組合(全員加入)と一緒に名簿づくりをしているか？管理組合と密になってやらないといけない部分もあると思うが、どのように一緒にやっているか。

ユニライフ山崎 C棟：自治会費を管理組合費と合わせて徴収している。

ユニライフ山崎：管理組合はハード面の管理・自治会で人の管理やコミュニティ形成。データのメンテナンスはどこまでされているか不明で、把握できないところもあると思う。管理組合と情報は共有しているがすんなりいかない。

若山台：以前は500戸加入していたが、今は226戸まで減少した。6月から自治会費の徴収をはじめたが、払ってくれるかわからないから、やめる人もいるかもしれない。赤い羽根募金、歳末募金などの役はやめて、自治会として一括で払っている。自治会の会費は従来通り。ごみステーションが6箇所あるが、従来から自治会のルールがあって、きちんと曜日通りに分別して出していたけど、最近入った若い人(役員になっていない人)や未加入者が分

別せずに出す。これには管理組合と一緒に新しいルールづくりが必要と考え、自治会の会則を変更しようかと話をしている。アンケートをつくって自治会必要ですか？とかを聞きたい。棟で1, 2人しか加入していないと、その人が頻繁に役員をしないといけなくなる。そのようなところが3棟ある。前副会長がそれらの問題を解決するために今年も残ってくれている。

ユニライフ山崎：323戸で、90%ぐらいの加入率。マンションができて最初のころは盛大な夏祭りなどもやっていた。15年前ぐらいに会員数がぐっと減って危機的状況になったが、持ち直した。10年ほど前に簡略化した夏祭りを復活させた。顔見知りになるための手段としてイベントを開催。イベントの開催は目的ではなく手段として実施。購入したものを配ったり、やり方を変えていたりしている。最近では自治会の公式LINEを立ち上げ、配信できるようにした。自治会だよりも出しているが、これをLINEで毎月出せるように進めている。自治会費は年間1200円、これで夏祭りや餅つき大会などのイベントはできている。

東大寺：若山台全体での夏祭りは行っていないのか？

若山台：以前は1・2・3住宅それぞれ独自でやっており、全体での開催はなかった。最近では高齢者が多くなったから自治会単独ではできそうにない。呼びかけて合同でできないか？という話をしている。住民の親睦と、子どものために楽しいことをしてあげたいという思いから、会合を始めたところである。

東大寺：戸建てが集まった自治会ではなかなか場所がなくて開催できない。公園とかしかないし、集会所はそれほど人も入らないから小規模でしかできない。若山台は広い場所もあるから、集客もできるだろうし、自治会を育てていくひとつの方法になるのでは？

若山台：公園もグラウンドもあるし、色々できる環境にある。がんばろう若山台が公園管理、公園事務所を活用して若山台3つの自治会の拠点にしたい。みんなに近いしバス停にも近い。今年は若山台公園で夏祭りをしていと考えている。リトルマートが潰れたが、跡地にお肉屋さんができるらしい。URと店を出す人が話をしているところだそう。8月末で工事は終わる予定らしい。高齢者は店ができると嬉しいが、日用品とかも売ってほしいと思う。安いお店に行ってしまうと結局またそこが潰れてしまうから、せっかく若山台にお店ができたから、ちょっと高くてもここで買ってほしいな

と思う。

ユニライフ山崎 C 棟：コロナで行事が一切できなくなってから、再開できないという声をよく聞く。保健所が厳しくなってきたように感じる。

ユニライフ山崎：一回やめたものを復活させるのは難しい。決められたものに合わせて変更して工夫をしながらやっていくしかない。

3 班要点録

参加自治会：楠、桜井台、桜井、御所の内、桜井西側、向陽ヶ丘、
シャルマンコーポ水無瀬（進行役）

シャルマンコーポ水無瀬：講師の話聞いて感じたことについて意見交換したい。

シャルマンコーポ水無瀬：思い当たることがあった講演であった。一つの自治会としても、第三地域としても、できることがあるのではないかと思った。

桜井台：問題は講演の内容ではなく、自治会費の大半が、集会所の光熱費、防犯カメラの電気代や補修経費を占めていることである。活動以前にお金がないと何もできないし、自治会には加入してもらえない。積極的な活動以前の問題が大きいと思う。

桜井：ためになった講演であったが、実際するとなると難しさはある。今回の講演の内容を実践にいかせるようにしたい。

御所の内：シャルマンコーポ水無瀬との間の住宅開発で、新しく自治会が立ち上がるのであれば、どのように運営されるのだろうか。防災の連携等をまず町がやらないと、自治会だけでは厳しいし、ネットワーク型の活動等できない。町はどのように関与するのか気になる。

向陽ヶ丘：自治会長は順番でまわってくるため、今回自治会長になったので参加したが、講演は参考になった。

楠：自治会平均年齢80代であり、その子どもの世代が少ない。また新しく入った人は自治会を必要としていないので、自治会の活動はしない。現在は、集会所を残すためだけの活動である。自治会は、自分が会長をやれる限りやり、役員は立候補してもらっている。今回の講演はいい話ではあったが、

正直手遅れに感じている。

桜井西側：働きアリの話はおもしろかった。数年前に島本町に引っ越してきたが、自治会・消防団がどのような活動をしているかの説明がないまま加入している状態である。ガイドライン等がないとなぜ自治会に入る必要があるのか自治会は何を担っているかを知る機会がないし、新しい人も入ってこないと思うし、自治会を抜けてもいいなら抜けたいと思っている。

シャルマンコーポ水無瀬：自治会はやってくれる人を募って運営しているので、約300世帯あるが8人程度しか集まらない。コロナ前は餅つき等を行っていたが、コロナ後は停滞しているのが現状である。講演の話に繋がるが、やらないといけないことは特に設けていない。行政に対する意見はたくさん出てくるだろうが、すぐに解決できることばかりではないので、一つの自治会という枠を超えて、第三地域でやりたいことがあったらいいと思う。

桜井台：自治会長が一番の仕事は、後任決めである。3割程度になるが自治会のラインに登録してもらっている。マムシが出た等、危険情報を流して共有している。

シャルマンコーポ水無瀬：防災にも活用できると思うが、向陽ヶ丘自治会はどうか。

向陽ヶ丘：すぐ隣が高槻市になるため、土地の持ち主がわからないことがある。木を切る時などは、行政に対応してもらって他、シルバーに依頼している。

シャルマンコーポ水無瀬：新しく住宅開発されたところにも新しいつながりができたらいいと思う。

御所の内：新しく自治会をつくる場合、誰がやるのかなというのが気になる。

シャルマンコーポ水無瀬：役場前のマンションの裏側に住宅開発された際に、自治会が新しくできたので参考になるのではないかな。

御所の内：講演の内容にあったが、やりたいことをやるという組織でうまくいくとは理想論にすぎると思う。

楠：もともとのコミュニティがあってこそネットワーク型だと思う。自治会の負担を軽減することも考えていく必要があるので、役場にも相談し負担を減らしていつている。

シャルマンコーポ水無瀬：小さい会は島本町にも多くあると思うが、個々だからうまくいっている。連携はなかなか難しいと思う。

楠：連携するにも、結局誰かが中心になる必要があるので負担がかかる。

シャルマンコーポ水無瀬：自治会としては、やりたい人にまずは費用を渡してやってみてもらうということはできそうだと思う。

御所の内：特定の団体だけにお金を渡すのは文句がでてくると思う。

桜井台：自主防災は組織しているが、実際に何かあったとしても年齢的な問題もあり、機能はしないと思う。またメンバーの入れ替えもできないのが課題。

シャルマンコーポ水無瀬：自主防災を組織すること大事ではあるけれど、まずは自らの身を守るのが第一である。自主防災は、安全が確認できてからでいいと思う。備品の準備などをすることが自主防災としての在り方でもいいと思う

桜井台：要望書の件、ビラを配布した。要望書をつくって、賛同いただいた各自治会を連名にして要望書を提出したい。第三地域の皆さんは、JRを多く使うと思うので、是非ともよろしく願います。

楠：改札等とあるが、「等」は他にあるのか。

桜井台：目的は混雑解消であり、改札増設以外の可能性もあることから等としている。

シャルマンコーポ水無瀬：改札の増設は厳しいと思う。上牧駅は、金光の生徒や付近のマンションの住民の利用も多いが、改札機は3機しかないので、JR島本駅の更なる増設は厳しいと思う。また、根拠となるデータがある方がいいので、マンション入居後にどれだけ混雑するかを見てからの方がいいのではないかと。

御所の内：改札機を増やすことよりも、安全面でホーム柵が先ではないか。電車の扉位置の兼ね合いもあるため、上下する柵しかつけれないと思うが、通路が狭いので歩行に影響がないかが気になる。

桜井台：令和元年に、町長から改札機の増設とホーム柵の設置に関する要望をだし

た結果、改札機の増設はできたが、ホーム柵については通らなかった。

シャルマンコーポ水無瀬：ホーム柵の要望は、様々な駅で要望が出ていると思う。利用者が多い駅から導入されることになると思う。

桜井 台：一度の要望で実現することは難しいので、過去にも要望していたことを再度してもいいのではないかと思う。改札機の増設は駅の構造上厳しいと思うが、安全面の方策を検討してほしいという要望はできるのではないか。加えて、マンボの交通が圧倒的に増加するので、その点も問題提起はしておくべきではないか。

シャルマンコーポ水無瀬：安全策についての要望はできると思う。第三地域と町長から要望を出した方がいいのではないかと思う。

楠：桜井自治会には町議会議員がいるが、要望の件について相談しているか。

桜井 井：話はしているが、まず島本駅周辺自治会の了解を得てから、町議や町に話を持っていきたいと考えている。駅西側の人口増を考えれば、大阪青陵開校の時よりも多くなると思う。

シャルマンコーポ水無瀬：要望書は、安全策に関する要望であれば、第三地域名で出していいと思う。

4 班要点録

参加自治会：新水無瀬万葉、阪急 A、水無瀬、メゾン水無瀬、江川、高浜、高浜西（進行役）、ニュー高浜

高 浜 西：先ほどの講演を聞いての感想、各自治会の取組など意見交換したい。

ニュー高浜：講演で紹介のあった実行委員会方式の取組（自治会等の役員が行事の企画運営をするのではなく、やりたい人が手を挙げてやりたいと思える行事を実施し、自治会等はそれを支援する役割を果たしている他地域事例の紹介があった）について、自治会費を使って実施することに関し、会費を納めていない人の扱いなどで議論になるのではと感じた。

高 浜：それはよくある話だが、地域によって事情は異なるかもしれない。旧村の自治会では、会費に対する意見や不公平感は少ないと感じている。昔からの村であるが、新しい住宅の人は自治会に加入せず二極化している。

江 川：公営住宅が9割で約600世帯。会費は行事をすればするほど足りなくなりますが、予め自治会総会で諮った上で、会員周知のもと地域行事として実施している。ただ、運営に携われる人手が足りず、行事をやりたくてもできない状態になってきた。最近は60歳代でも仕事をしており地域活動を担えない人が多い。自治会には自前の櫓やテントもあるが、自分たちでは建てられずリースに切り替えた。綿あめを作る機械や鉄板もあり、他の自治会に貸し出しても良いと思っている。

ニュー高浜：うちは30世帯。小規模な自治会では個々の意見に気を遣う部分もある。

江 川：小さい方がまとまりやすいような気もするがどうだろうか。

高 浜 西：講演で紹介のあった「周辺グループ」の話（コミュニティへの参加度合いが高い順に「コア・グループ」、「アクティブ・グループ」、「周辺グループ」に分けられるが、「コア・グループ」を確保していくためには「周辺グループ」を含めて一定の規模を維持しなければならない、という趣旨の説明があった）について、人が多いところ、やる気があるところでは「周辺グループ」も確保できるが、人が少ない地域では意味があるのかなど。「周辺グループ」の増やし方について意見を聞きたい。いま高浜西では、地域内の小さな公園でお祭りをやろう、非自治会員の人も含めてやろうと盛り上がっている。子ども会がなくなっているし、一度自治会をやめた人とも再び繋がれるようにと。朝の100歳体操も参加者が増えてきており、日頃の挨拶などを大切にしている。

高 浜：昔は100世帯あったが現在は80世帯まで減っている。先日も役員で話し合ったが、キーワードのひとつは「子ども」。子どもを通じて親子を入れて、地域の交流を起点にして挨拶できる関係をつくりたい。子ども会にふんだんに予算を使おうという意見もあった。一部の人は文句を言うかもしれないが、そこは割り切って考えようと。みんなで掃除をしたり、お祭りもいいと思う。

水 無 瀬：かれこれ十数年自治会長をやっている。幽霊会員の人も話をして、「年会費だけ払ってくれへんか？」と言うと、大抵「いいですよ」となる。現在44世帯。新しい住宅にも自治会加入のお願いはしている。販売会社を通じて依頼しても未加入となることもあるが。過去の災害の経験を元に助け合いの大切さを伝えることもしている。

高 浜 西：なにか活動上の課題などあれば。みなさん自治会費はいくらぐらい？高浜西は月額200円。

水 無 瀬：同じく月額200円。

高 浜：年額3,000円。

ニュー高浜：同じく年額3,000円。

江 川：集合住宅であり様々な経費があるが、自治会費としては月額250円。

ニュー高浜：町なら自治会費に関する資料を持っているのでは。

事務局：一覧表のような資料はないが、過去に自治会から町に提出された資料から、ある程度の相場は把握しているはずなので一度確認したい。

(事務局補記)

※事務局が把握している情報では、各自治会の会費は月額50円～400円まで様々。月額100円又は200円のところが多く、町内自治会の平均は月額約175円。

高 浜 西：せっかく自治会長をするなら色々変えていきたい。非自治会員の人も日頃から話しているが、自治会長である自分と話すとはと勧誘されるのではと警戒されているように感じることも。お金（会費）のことで距離があるのは勿体ないと感じる。

高 浜：同じようなことはうちでもある。「お金払ってないのに」と陰で言われるのではないかというような。

高 浜 西：今回のお祭りについては、「未加入のところも参加してもらおう」ということで押そうと話している。

水 無 瀬：地域のお付き合いについて。最近は会員が亡くなった際も家族葬が多く、自治会内でも「知らなかった」という事例が増えた。「会長、聞いてなかったの？」と言われることも。そこで、自治会から柩代を出すことにして、一報入れていただくように呼び掛けている。

事務局：先ほど議論のあった、自治会費を使って非自治会員も交えて行事を行うこ

とについて、講演会の講師に見解を伺った。費用負担の問題について、最初は必ず文句が出る。しかし、未加入者も含めて地域行事を行う意義について自治会内で議論することが大切で、目的を共有するにつれて文句は出なくなってくる、といった趣旨の助言があった。

高 浜 西：行事に自治会未加入の人を呼ぶために、自治会でやると問題が出るので、自治会は応援する立場、経費を援助する立場とした。

講演会講師：フリーライダーの議論はどこでもある。商品でも初回無料というのがあるが、同じような考え方もできるのでは？参加してもらうなかで、この行事のお金はここから出ている、ということを知ってもらうことも意義がある。

高 浜 西：「子どものため」と言い続けないと仕方ない。

事務局：講演の中で、自治会がやりたいことに時間を割けないのは行政からの依頼事項が多いなど行政にも責任の一端がある、との話があった。回覧や募金のあり方など、自治会活動を身軽にするための負担軽減に取り組んできたが、現在課題や負担になっていることなどあれば伺いたい。

高 浜 西：自治会長になった当初、周囲から「会長なんて大変やろ」と言われたが、実際にやってみると思っていたような負担はない。この間、行政の方で整理された影響もあるのかもしれない。面倒と言いだしたらなんでもそうなるが。役員会でも、毎回、冒頭で「なにか負担ありますか？」と聞くようにしている。